

絆

159 号



衆議院議員

桜田よしたか

日本！この国を強い国に！
～国・地域・家族を守る～

アベノミクスで景気回復！

強い経済を何としても取り戻す！



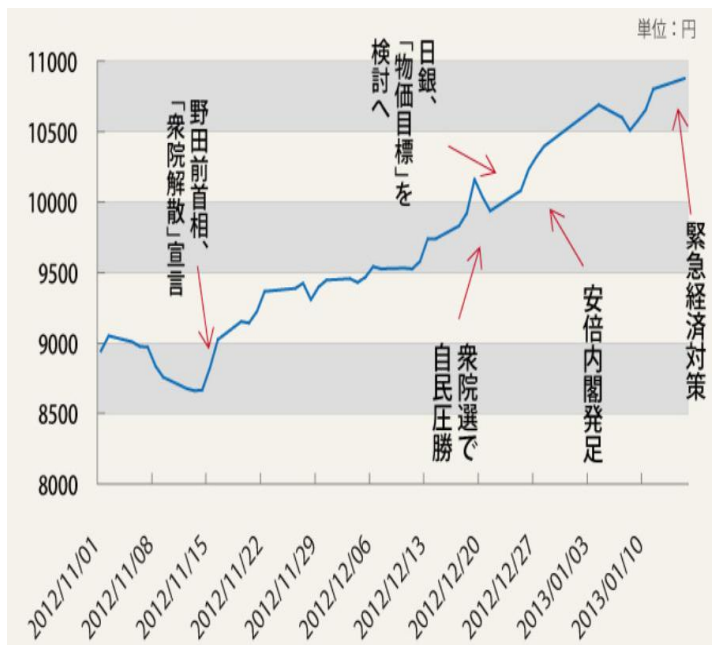
☆ 昨年 12 月の衆議院議員総選挙から、日本の株価が上がり、過度な円高に歯止めが掛かっております。自民党は、強い日本経済を取り戻すべく、矢継ぎ早の経済政策を実施しようとしております。最近、新聞や TV、各種雑誌で盛んに取り上げられる、自民党の経済政策について、安倍晋三内閣総理大臣の名前をもじって、「アベノミクス」と呼ばれております。野田前首相が衆議院の解散を発言してから（平成 24 年 11 月 14 日：日経平均株価終値 8,664 円）、わずか 2 か月足らずで日本の株価は約 30% も上昇し（平成 25 年 2 月 8 日：日経平均株価終値 11,153 円）、為替相場も過剰な円高を解消する方向に向かっております。今回は、日本経済復活の方向性について取り上げます。

資料：為替相場（ドル円）チャート 日経平均株価グラフ（直近2か月）

ドル・円相場の推移



資料：ブルームバーグ



「アベノミクス」とは？経済政策の方向性をお示し致します。

☆現在の日本経済の最大の問題「デフレーション不況」

そもそも、現在の日本経済が厳しいのはなぜか？正しい現状認識がなければ、対処のしようがありません。日本経済は 1980 年代後半から 1990 年代前半にかけての「バブル経済」崩壊後、「デフレ

ーション」(以下デフレ)不況に陥っております。このデフレという言葉は頻りに耳にしますがこのデフレとは、物価が下落し続け貨幣価値が上昇し続けるために投資や融資が行われなくなり、資本主義が機能不全に陥る、きわめて異常な現象であります。このデフレが継続すると、物価の下落⇒企業の売上下落⇒従業員の賃金下落⇒更なる売上の下落⇒従業員の賃金の更なる下落や首切りの発生⇒将来の不安が高まります。物が売れなくなる・・・というデフレが更なるデフレを進行させてしまう「デフレスパイラル」となり、経済にも社会にとっても深刻なダメージとなります。

このデフレ不況については、戦前には1929年の世界大恐慌後に発生しましたが、戦後の日本では平成期になって初めて発生したものであり、通常の経済政策では解決できない、きわめて深刻な事態であります。これは政治が責任を持って解決しなければならない事態であります。自民党安倍政権は、このデフレ不況に終止符を打つべく、3つの経済政策を計画しています。

☆毛利元就に学べ！経済再生に向けた、3本の矢

16世紀の戦国武将「毛利元就」の有名な教えに、3本の矢の教えがあります。元就は自分の子供3人に“1本の矢では簡単に折れてしまうが、3本束ねれば簡単には折れないので、兄弟3人結束するように”との教えを説きました。歴史上の賢人の言葉には、様々な場面で活用できる教えがありますが、毛利元就の言葉は現在のデフレ不況に苦しむ日本にとっても、示唆に富んだ教えであると思います。日本経済を苦しめているデフレ経済を退治するには、これまでにない経済政策を実施する必要があります。それは「金融緩和」「財政出動」「成長戦略を主眼とした産業政策」です。

☆第一の矢：金融緩和で産業の活力である資金のめぐりをよくしよう！

2008年9月15日発生し、瞬く間に世界中に影響を及ぼした「リーマンショック」は世界経済に深刻なダメージを与えました。当事国のアメリカでは、リーマンショックの影響で景気が悪化し、失業率が悪化するのを防止するため、FRB(アメリカ連邦制度準備理事会：日本の日銀に相当)はその後QE(量的緩和策)といわれる政策で、市場に資金を惜しみなく供給し(QE1, 2だけで2兆3,250億ドル)その結果ドルは下がり、円は高くなっていきました。それと同時に景気対策法と呼ばれる財政出動も実施(第1次、2次で総額1兆6,450億ドル)し、積極的に景気対策を実施してきました。

今回、自民党の安倍政権もインフレ率が2~3%程度になるくらいまで、日銀と協調して金融緩和を実施するというものです。アメリカやEUを始めとして、積極的な金融緩和を実施してきたのに、この3年間、日本政府および日銀は金融緩和について真面目に取り組んではきませんでした。その結果、円は他国通貨に比べて突出して高くなり、ルネサステクノロジー、シャープ、パナソニックといった日本を代表する企業が軒並み業績悪化し、会社存亡の危機に陥りました。産業の血液でもある資金の流れをよくして、過度な円高による輸出企業の業績不振を防ぐためにも、大胆な金融緩和を実施することが、アベノミクスの第一の矢であります。

☆第二の矢：財政出動<国土強靱化で、災害に強い国へ！老朽化したインフラの改修を！>

財政出動とは、簡単にいえば、冷え込んでしまった民間景気に活力を与えるべく、景気が悪いときに政府主導で実施する公共事業が代表的でしょう。ところが、公共事業という言葉を聞いただけで、「また自民党は無駄な公共事業を計画している！」とか、「利権政治の復活だ！」とか「コンクリートから人へ！」など批判する方々がおられます。しかし、東日本大震災を始めとして、いつ起こってもおかしくない関東直下型地震、東海地震、東南海地震、地球温暖化に起因した極地的豪雨や巨大台風、火山の噴火など、日本は諸外国に比べて自然災害が集中して発生する国土であります。

そのため、災害時に通行止めにならないような道路整備、耐震化された学校や病院、洪水を防ぐための堤防やダム、津波対策のための防潮堤など、必要な設備は適切に整備・建設していかなければなりません。備えあれば憂いなし・・・。東北大震災での教訓を、もう一度日本全国で見直すべき時期にきていると私は考えます。



岩手県普代村の堤防。手前の漁港は壊滅したが、堤防に守られた村（写真奥）は守られた。1967年の完成当時は、「高すぎる」などと批判を浴びていたが、東北大震災では村民の命を救った。



昨年12月、山梨県の中央自動車道の笹子トンネル内で老朽化した天井板が崩落し、9名の犠牲者が発生した。トンネルに限らず、多くのインフラが老朽化しており改修が急務である。

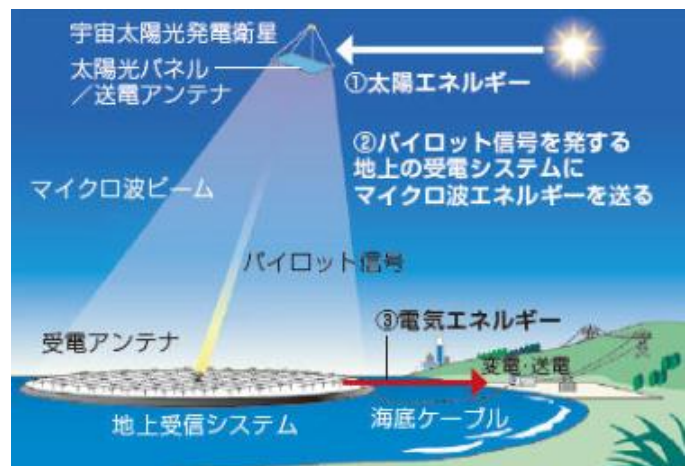
また、昨年の12月2日には、山梨県の中央自動車道で大変痛ましい事故が発生しました。老朽化した天井板が崩落し、車が下敷きになってしまったのです。事故の原因については、今後詳細な調査がなされるでしょうが、これも過去に建設した社会インフラの整備が、今後さらに必要であるとの警鐘であると私は考えております。東京オリンピック前後の高度経済成長期に建設された、社会インフラが今後続々と補修や改修が必要な時期に差し掛かってきます。

☆第三の矢：新成長分野・産業への投資を！一番でなければダメなんです！

私の持論として、日本国は、科学立国・技術立国を目指すべきであると、強く主張しておりました。

今回、日本の経済を継続的に強くするためには、将来への投資、新産業への投資が必要であります。科学や新技術については、多額の継続的な投資が必要であり、将来ビジョンを今回自民党安倍政権では、甘利明氏を中心に「経済再生担当大臣」を設け新成長戦略を描こうとしております。

縮小均衡から、成長による富の創出をもたらす成長産業に、積極的に投資していきます。宇宙空間の開発、新素材、新デバイス・・・など。日本には多くの有望な科学者や技術者がおり大学や研究所で盛んに研究がなされております。自民党では、「世界で1番」となるべく、日本の技術や科学者を税制や新規投資人事採用に、新組織で優遇していきたいと考えております。



私は長年宇宙開発に関心があり、JAXAを訪問したり、自民党DFD (Dynamic Future Dream) 議連の会長として、日本の宇宙科学分野の発展を支援しておりました。今回、自民党では宇宙開発基本計画を見直し、民主党政権下で停滞していた科学技術や宇宙開発を推進するべく、活動を活発化しております。イラストは宇宙空間で太陽光による発電した電力を地上に送るといった壮大な計画について。

ご報告

平成 25 年 2 月 9 日の自由民主党千葉県支部連合会第 56 回大会に於いて、自由民主党千葉県支部連合会会長を拝命いたしました。今後とも地元、柏・我孫子の発展と共に、千葉県全県についても責任を持って取り組んでまいり所存であります。今後とも何卒宜しくお願い致します。



平成 25 年 2 月 9 日 自民党県連大会にて。

党員募集のお知らせ

【入党手続き】 桜田事務所までご連絡ください

【自民党員になると】2年間継続した党員は、自民党総裁選挙の有権者となります。また桜田義孝事務所より活動報告や行事案内をお送り致します。

【党員種類】 一般党員 年間 4,000 円 家族党員 年間 2,000 円

桜田義孝柏事務所

〒277-0814 柏市正連寺 3 7 4 TEL:04-7132-0881 FAX:04-7132-6456

桜田義孝国会事務所

〒100-8982 東京都千代田区永田町 2-1-2 衆議院第二議員会館 1117 号室

TEL : 03-3508-7381 FAX : 03-3508-3501

ホームページ <http://www.sakurada-yoshitaka.com/>

メールアドレス web@sakurada-yoshitaka.com

Twitter (ツイッター) <http://twitter.com/ysakurada>